

【地区の魅力】

児島湾の静かな海面、水際に点在する集落や児島半島の山並みが一体となって、良好な自然景観が展開している。また、児島湖、阿部池一带は野鳥の貴重な生息地となっており、水辺のヨシ原も含めて自然環境に恵まれている。

瀬戸内海に浮かぶ犬島は、銅精錬所跡地の煙突等の産業遺跡が独特の景観を形成している。周辺の海域は海洋レクリエーションの拠点となっている。

児島湾には、児島湖の締切堤防をはじめ、水害を防ぐ堤防や水門などの構造物が多く、江戸期から戦前にかけて建設されたものや常夜灯など海とそこに暮らす人々との係りを示す景観資源が点在している。

水門湾周辺には特徴ある干潟が残っており、歴史的な集落や遺構などとあわせて、独特の風情ある景観を醸し出している。

新岡山港から九幡港（吉井川河口部）に至る海岸線に沿って、江戸期から行われていた「四ツ手網漁」の番小屋風の建物が並んでおり、児島湾と一体的となる文化的な景観を形成している。

【地区の魅力となる景観資源】



貝殻山から市街地への眺望



魅力的な景観資源でもある犬島



児島湾のたおやかな海の眺め



唯一干潟が残る水門湾



四ツ手網の並ぶ文化的景観



歴史的な港町の街並み（宮浦地区）

【地区の課題】

児島湾や市街地への眺望の場の確保と良好な眺望景観への配慮が必要である。

人工的に形成された海岸線の修景を図りながら水辺に近づける工夫が必要である。

新岡山港周辺の玄関口にふさわしい顔づくりと、都市機能を支える諸施設を活かした拠点景観を形成していくことが必要である。

水門などの近代化遺産や漁村などの伝統的な集落を地域固有の景観資源として活用していくことが必要である。

【景観づくりの目標】

児島湾の水面と周辺の漁村集落、その背景を縁どる児島半島の壮大な山並みとが一体的に創り出すパノラマ景観を守り活かし、海からの魅力的な玄関口として、また市民に身近な水辺、水際の景観づくりを目指す。

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 海への意識を高め、水辺空間を活用する	水辺に近づける場所・空間を整備し、アメニティを高める。 海・対岸からの眺望に配慮した景観誘導を進める。
2. 港湾部の拠点景観を形成する	新岡山港周辺の海の玄関口としてふさわしい景観形成を図る。 個性的な産業景観を支えてきた歴史的遺構を維持・保全する。
3. 児島半島をはじめとした湾を取り囲む自然景観を保全する	山地や島々のまとまりのある緑地を守る。 水際線や海岸工作物など、自然景観に配慮する。 山や海からの視点場の整備とともに眺望景観を守る。
4. 歴史的資源や集落景観を保全、活用する	港町としての伝統的集落の保全による景観形成を図る。 四ツ手網や犬島精錬所跡地などの歴史的な産業・文化的景観を維持・保全する。

図 景観づくりの方針

